


1. 基本的な避難の流れ

台風・大雨のとき

台風の接近被害発生のおそれ

確認 テレビ、ラジオなどで情報を収集する

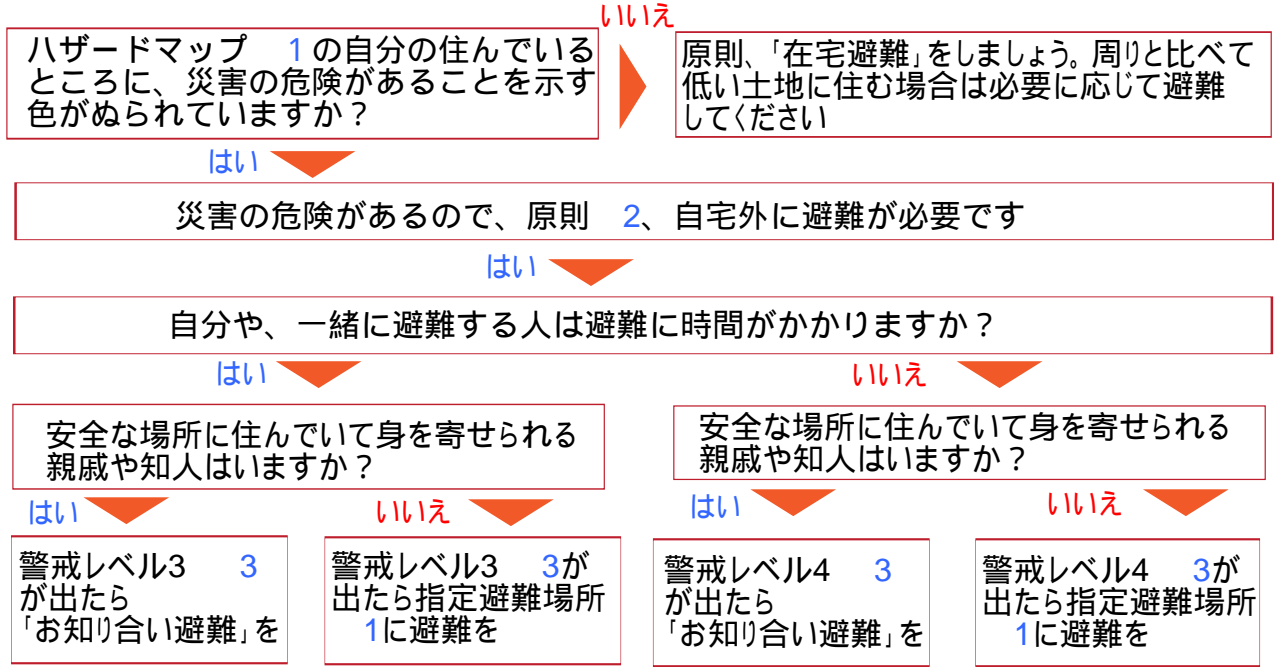


判断 収集した情報をもとに避難のタイミングを決め安全な場所へ避難を開始する

「避難」って何をすればいいの？

「避難」とは「難」を「避ける」、つまり、「危険を回避する」行動のことをいいます。自宅に比べて「3密」状態になりやすく、感染リスクの高くなる避難場所に行くことだけが避難ではありません。本当に避難所に行くべきかどうかを考え、状況に合った避難をすることも選択肢の一つです。下記の避難行動判定フローを参考に、自分の取るべき避難行動を考えてみましょう。

避難行動判定フロー



1 市のホームページでハザードマップや指定避難場所を確認できます
 2 浸水する深さより高いところにお住いの場合は、自宅にとどまる方が安全な場合もあります
 3 避難のタイミングを示す「警戒レベル」については右ページを参照

「お知り合い避難」・「在宅避難」のススメ
 「お知り合い避難」とは、親戚や知人の住む、安全な家に避難することです。前もって「台風が来る前日にお邪魔する」など確認し合っておけば、気兼ねなく避難することができます。また、自宅にとどまり安全を確保する「在宅避難」も選択肢の一つです。